

サルタ派遣支援部新設

群馬・高崎

ヤングケアラーは、家族の介護、家事、幼少期から大人の世話を担う子供もや若者たちをさします。近年、積極的に支援に取り組む自治体が増えつつあります。その一つ、群馬県高崎市の支援の実際をみました。

群馬県高崎市（人口約87万人）は、昨年9月から、ヤングケアラーの家庭に家事援助などをねり、「サポート」を無料で派遣する「ヤングケアラーSOSサービス事業」を始めました。

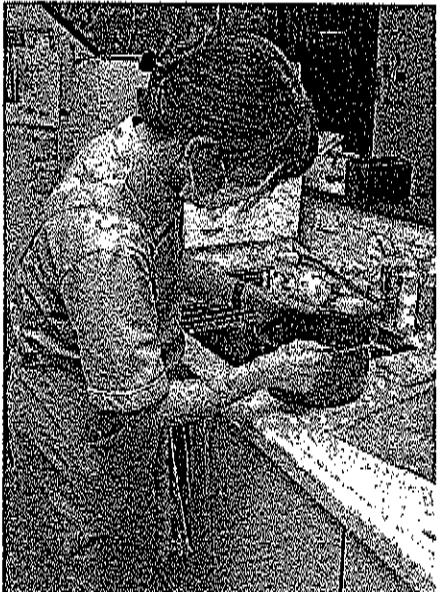
市の支援の実際
(西口友紀恵)

**ヤング
ケアラー**

事業に先立つて実施した
市立中高校の校長への聞き
取りから、各校に1～2人
ヤングケアラーと思われる

国市の特徴は昨年4月に
教育委員会学校教育課にヤン
クケニア支援担当係長の金
井吉代さんも最も早く児童福祉
行政に携わってきました。
「教育と福祉の融合で、子
どもたちの状況をよく分か
です。

教育と福祉の融合で



「保護者がかのトコもの笑顔が見られるようになった」と感謝の言葉もござだいでいる」と金井さん。「ヤングケアラーとしての時期が長くと学校生活や友人関係などに影響が出る可能性が高かったであります。制度の周知し早期発見で少しでも早く支援できれば」と語ります。